

柏崎刈羽原発 数々の問題がそのままに



国際環境NGO FoE Japan
満田夏花 (みつた・かんな)

最近の動き

- 11月21日…花角知事、再稼働容認。
「県民に信を問う」→「県議会での判断を仰ぐ」
- 11月25日…1000人超が県庁を取り囲むヒューマン・チェーン
- 12月1日…全国緊急署名、37,892筆を県知事・県議会に提出
- 12月2日…県議会開会
- 12月22日…県議会閉会
 - 柏崎刈羽原発の再稼働の理解釀成の目的とした広報費含む補正予算案を可決
 - 花角知事を「信任」する付帯決議を可決



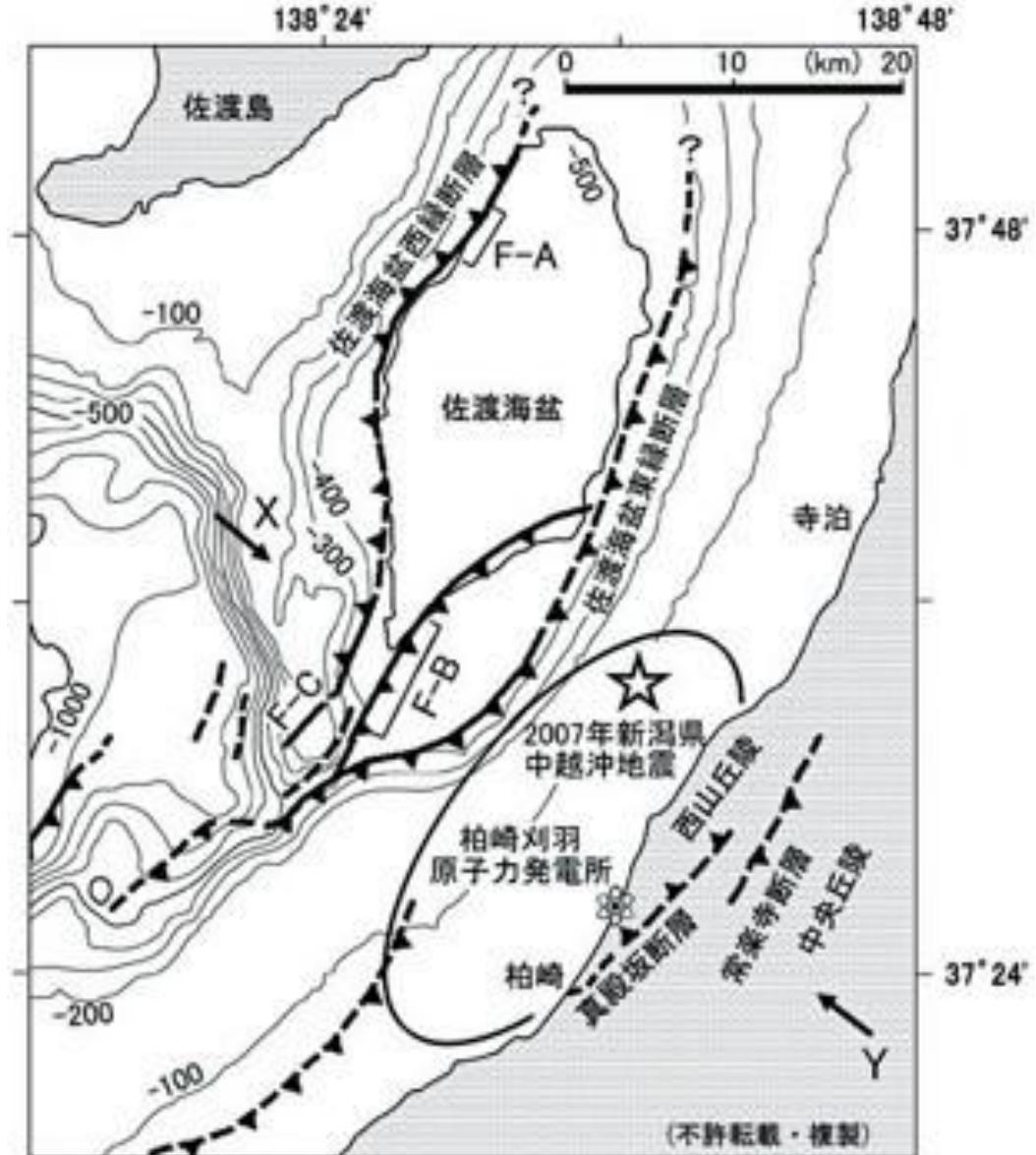
数々の問題がそのままに

- 「県民に信を問う」はどこに？
- 地震の危険性
 - …地震帯の真っ只中。海域の長大な活断層が評価されないまま
- 東電は信頼できるのか？
 - …数々の不祥事、データ隠蔽や改ざんも。
- 避難計画の実効性
 - …住民を被ばくから守ることはできない
- テロ対策施設は未完成
- 行き場のない「核のごみ」
- 経済合理性なき再稼働



地震は大丈夫？

- 地震帯の真っ只中に立地
- 2007年の中越沖地震 (M6.8) では、**設計上の想定を超える揺れ**に
- 6, 7号機の基準地震動は、海底活断層 (F-B断層) による地震を想定。東電は当初はこれを活断層とは評価せず。2003年、原子力安全保安院の指示により長さ約20kmの活断層と評価しなおしたが、公表しなかった。
- 中越沖地震後、F-B断層を長さ34kmの活断層と再評価
- 専門家は、F-B断層は**50-60kmにおよぶ長大な活断層** (佐渡海盆東縁断層) から枝分かれしたものにすぎず、活断層全体が動いた場合を想定し、少なくともM7.5程度の地震を想定すべきとしている



出典：「柏崎刈羽・科学者の会」リーフレットNo.1 2008年2月24日

東電の信頼性は？

- 2002年、柏崎刈羽原発、福島第一・第二など計13基の原発で、**ひび割れや故障を長年にわたり意図的に隠ぺいし、記録を改ざん**していたことが内部告発をきっかけに明らかになった。
- 2007年の中越沖地震では、柏崎刈羽原発の配管破損や変圧器火災、放射性物質の漏洩が発生。**想定を超える揺れにより、地震評価や耐震設計の甘さが露呈**した。海底断層の一つのF-B断層について東電は当初は活断層とは評価していなかった。2003年、原子力安全保安院の指示により**長さ約20kmの活断層と再評価**していたが、このことを公表しなかった。中越沖地震後、東電はF-B断層を長さ34kmの活断層と再評価した。
- 2011年3月に発生した福島第一原発事故では、**早い段階で炉心溶融（メルトダウン）を認識**していくながらそれを公表せず、炉心損傷としていた。

東電の信頼性は？

- 2020年、柏崎刈羽原発において、中央制御室において、東電社員が**他人のIDカードを使って入室していた**ことが明らかになった。その後の調査で複数人による不正使用が発覚した。
- 2021年、柏崎刈羽原発で、侵入者を検知する**複数のテロ対策設備が機能しておらず、それが放置**されていたことが明らかになった。原子力規制委員会は、核物質防護上の機能が一部喪失していたとして、4段階評価のうち最も深刻なレベルの「赤」と評価した。
- 2023年、柏崎刈羽原発において、**東電社員が6号機原子炉建屋の図面を無断で持ち出し、紛失**した。その後、他の社員による書類持ち出しも明らかになった。

【Q&A】 東電柏崎刈羽原発、知っておきたい14のポイント

- ・「テロ対策施設」はどうなっている？
- ・再稼働のためのコストは？
- ・再稼働したら電気代は下がる？
- ・核のごみはどうなる？
- ・再稼働しなかったら電気は足りなくなる？

詳しくはこちらから

👉 <https://foejapan.org/issue/20250415/23654/>